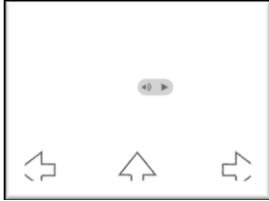
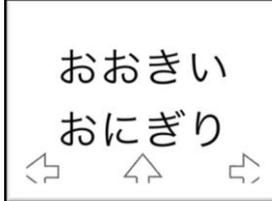


I C T 授業活用教育実践

対 象	特別支援【小学部5，6年】
教 科	国語
単 元	ことば遊びをしよう
ねらい	形容詞の違いに注目し，選択肢の中から正しい絵カードを選ぶ。
I C T 環境 (授業で使用した機器)	テレビ，AppleTV，無線 LAN ルータ，iPad
利用したデジタル教材 (アプリ，サイトのアドレス，資料など)	iOS 用アプリ (Keynote, TimerTouch, Adobe Ideas)
授業での I C T 機器の活用 方法と手順	<p>テレビに AppleTV を HDMI ケーブルで接続する。ルータに Wi-Fi の設定をし，AppleTV と無線 LAN 接続をする。テレビと AppleTV，そして無線 LAN ルータを固定で設置することで，一度設定しておけば次からは AppleTV とルータは自動的につながる。ここが重要で固定設置しておくことで AppleTV とルータのペアリングの手間がなくなる。後は iOS 機器をルータにつなげれば無線 LAN ミラーリング (iOS 機器の画面を無線でテレビに映す) 「AirPlay」の完成となる。</p> 
授業の工夫 (ポイント)	<p>本日の授業内容を Keynote で作成し，提示することで授業への見通しがもちやすいようにする。学習の手順や座席表，タイマーなどをテレビ画面に提示し，「視覚支援」をすることで合理的配慮としての情報補償を行う。</p> <p>また，Keynote で作成した学習支援教材「くらべてみよう」を使って，音声のみ，音声と文字，音声と文字と写真を提示できるようにし，習熟度に合わせて学習を支援できるようにした。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>【音声のみ】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【音声と文字】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【音声と文字と写真】</p> </div> </div>
児童の様子	<p>研究授業当日はいつもと違う雰囲気に戸惑いが隠せない子どもたちだったが，普段の授業で実践したときは音声だけで授業を進行するよりも格段に落ち着いて参加することができた。</p>

実践例

配当時間		学習の進め方	指導のポイント								
導入	2分	1 挨拶（2分） ・姿勢を正して始まりの挨拶をする。	・事前に児童の机は配置しておく。								
展開	36分	2 本時の学習内容（3分） ・本時の予定を知り、活動の見通しをもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p style="text-align: center;">【本時の予定】</p> <p style="text-align: center;">きょうのよてい</p> <p style="text-align: center;">1. はじめのあいさつ</p> <p style="text-align: center;">2. ことばあそび</p> <p style="text-align: center;">3. かだいがくしゅう </p> <p style="text-align: center;">4. おわりのあいさつ</p> </div>	・T1はタブレット端末を使い、テレビに本時の予定を示す。 ・T1はタイマーが鳴ったら終わりにし、座席を元の位置に戻すことを伝える。								
		3 言葉に合う絵カードを選ぼう（15分） ・説明を聞き、ことば遊びのきまりや進め方を知る。 ・机と椅子を移動して準備をする。（二つのグループに分かれる） ・「長い・短い」「大きい・小さい」の音声を聞いて形容詞に合わせて正しい絵カードを選択肢から選ぶことば遊びをする。 <div style="text-align: right;">【絵カードの例】</div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">(グループ別)</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"><div style="text-align: center;">・座席を元の位置に戻す。</div><div style="text-align: center;">・テレビ画面を見て、評価を聞く。</div></div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"></div> 4 個別の課題学習（18分） ・A, B, Cは対になる言葉の書字課題, D, E, F, Gは対になる言葉のマッチング課題を行う。 <div style="text-align: center;">【個別課題の例】</div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"></div> ・課題が終了したらT1に報告をし、スタンプを押す。 ・課題が終わったら、絵本を読む、お絵かきなどをして過ごす。	・T1は児童の座席表をテレビに提示する。T2はGが移動できるように、言葉かけや指差しを行う。 ・T2は音声のみで絵カードを選べなかった児童には、タブレット端末を使い、「ながいえんぴつ」等の言葉を提示する。 ・T1, T2は全員が絵カードを取り終えたら、タブレット端末で一人一人の児童の写真を撮る。 ・T1, T2は撮った写真をテレビ画面に映し、頑張っていたところやよい部分を褒め、写真に花丸を書く。 ・T1は課題の終了時間をテレビにタイマーを表示して示す。 ・T1は、B, F, Gが見通しをもって取り組めるよう一緒に手順書を見て本時の課題を確認したり、終わった後の活動を伝えたりする。 <div style="text-align: center;">【手順書の例】</div> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"><tr><td>くらべてみよう</td><td style="text-align: center;">○</td></tr><tr><td>プリント</td><td></td></tr><tr><td>ファイルにとじる</td><td></td></tr><tr><td> </td><td></td></tr><tr><td> </td><td></td></tr></table>	くらべてみよう	○	プリント		ファイルにとじる			
くらべてみよう	○										
プリント											
ファイルにとじる											
まとめ	2分	5 挨拶（2分） ・姿勢を正して終わりの挨拶をする。	・T1は児童の前でよい姿勢を見せる。 ・T2は、児童によい姿勢を促し、T1の合図に合わせて挨拶ができるよう、児童のそばで一緒に挨拶をする。								

評価

児童について	児童の興味・関心	テレビに必要な情報を提示することで、どこを見たらいいのかが理解しやすくなり、注目度が高まった。
	児童の理解	教材「くらべてみよう」を活用することで、段階的な学びとその理解を支援することができたと思う。
	児童の情報機器の活用度	今回の活用では自分で機器を操作するという場面は少なかった。タブレット端末で教材「くらべてみよう」の活用場面では、画面をタップという簡単な操作のみで、学習を進めることができていた。
授業について	事前準備の難易度	タブレット端末とテレビを無線LANで接続する「AirPlay」については、事前にAppleTVと無線LANルータをペアリングしておくことにより、格段に接続は容易になった。Keynoteでの学習支援教材「くらべてみよう」作成はパワーポイントなどのプレゼンテーションアプリが操作できるスキルがあれば、作成可能。
	指導者にとっての授業展開の難易度	タブレット端末の活用は、必要な場面に限定して使用しているため、戸惑いはなかった。
	授業の「ねらい」の設定は適切であったか	一人一人のニーズに寄り添う「ねらい」になっていたと考えられる。
	効果的な指導方法であったか	前半のグループ学習でタブレット端末を使用した。タブレット端末はコンパクトで持ち運びが容易なので、必要なときに必要な児童に対して、提示しやすいということを実感できた。
<p><実践の感想及び反省点等></p> <p>今回は、自分が主指導（T1）ではなく、副指導（T2）での実践であった。T1とは、打ち合わせをしながら授業に臨んだことでスムーズに授業を進めることができた。研究授業当日は、ある程度予想してはいたが、一部の児童が環境の変化によって不安定になってしまう場面があった。参観の仕方など配慮をする必要があったと反省している。</p>		